

令和6年度
スマート電力システム構築協議会
第3回総会

令和6年度の取組と
令和7年度以降の取組について

報告（1）

令和6年度の取組

令和6年度の取組

総会開催

第1回：令和6年5月22日

第2回：令和6年11月15日

※「第12回サステイナブルキャンパス推進協議会（CAS-Net JAPAN）2024年次大会」と連動開催

第3回：令和6年3月24日（本日）

取組内容

概要

- 地域での経済・環境価値循環にもつながるスマート電力システムの在り方の検討
- スマート電力システム構築に資するビジネスの検討

〈市内特定事業者への個別ヒアリング〉【資料1】参照

- 令和5年度の市内特定事業者及び準特定事業者にデマンドレスポンスに関するアンケート結果をもとに、デマンドレスポンスに関心のある事業者に対してヒアリングを実施。

- 様々なエネルギー資源を用いた市域での電力の需給調整等の実証

- 地域経済循環型の脱炭素モデルの実装に向けた、市内の既存蓄電池（マルチユースシミュレーション実証で設置）等を束ねて市場に拠出するための検証・準備。

- 事業者・市民等の認識向上を図る広報

〈広報用チラシの作成〉【資料2】参照

- 市内での「調エネ」についての認識向上を図るため、広報用チラシを作成。

動画コンテンツやホームページ等とともにチラシを活用し、事業者・市民等への広報を実施。

令和6年度決算（案）

＜収入＞

項目	予算（A）	決算（B）	差引(B-A)	主な内訳等
京都市負担金	401,416円	401,416円	－	京都市負担金
その他	－	254円	254円	利息
繰越金	98,584円	98,584円	－	繰越金
合計	500,000円	500,254円	254円	

＜支出＞※ 見込み

項目	予算（A）	決算（B）	差引(B-A)	主な内訳等
広報活動費	300,000円	300,000円	－	広報活動費
諸経費	200,000円	193,540円	△6,460円	監査費、会場費 等
翌年度繰越	－	6,714円	6,714円	
合計	500,000円	500,254円	254円	

決算収支

0円

報告（2）

令和7年度以降の取組

令和7年度以降の取組予定

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
スマート電力検討会	市内のエネルギー資源状況、事業者の関心、ビジネスモデル等の調査	R5アンケートに基づく、事業者への個別ヒアリング	
実証	既存設備（蓄電池）を活用した検証・準備		
ビジネス検討会	国事業活用の検討		
広報	知見の共有によるビジネスモデルの検討		
予算	周知啓発の実施、協議会の取組発信 市HP開設	チラシ作成	国事業活用の検討 自走化による取り組み
	【予算】300万円 調査費、会場費等	【予算】50万円 広報費、会場費等	【予算】0円 自走化による取り組み

会員によるビジネス展開

(事業)

- 第3条 協議会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
- (1) 地域での経済・環境価値循環にもつながるスマート電力システムの在り方の検討
 - (2) 様々なエネルギー資源を用いた市域での電力の需給調整等の実証
 - (3) スマート電力システム構築に資するビジネスの検討
 - (4) 事業者・市民等の認識向上を図る広報
 - (5) その他協議会の目的に合致する事業